

組合加入説明会を行いました (4/1(水), 3(金))

2020年4月1日(水)・3日(金)の2日間、この春、新たに医学部・附属病院のスタッフに加わった教職員の方々へ向けて、組合加入呼びかけの取り組みを行いました。

今年度の研修は、新型コロナウイルス感染症対策のため、毎年行われている全体的なものではなく、職種ごとに分かれて実施されました。(各研修会参加者計約120名)そのため、職種によっては組合資料の配布のみとなりましたが、研修医・看護師については直接の説明の場を作ることができました。

看護師さんについては、研修3日目(4/3)昼休み時間に、小串分会より林田分会代表・石村副代表、本部から福田委員長・鴨崎参与等、計5名が対応し説明を行いました。今回は組合も説明を手短に行うことにし、例年行っている軽食等の提供はせず、説明資料を配布し、福田委員長・林田代表より簡潔に説明を行いました。福田委員長からは「組合がなぜ必要なのか」組織的な解説を交えた説明を、林田代表からは、「組合加入の必要性」を、自己の経験を踏まえた加入の呼びかけを行いました。

結果、今年も新たな仲間をむかえることができました。

新しい組合員の皆さん、どうぞよろしくお祈りします!

「医療資材確保について」の要望を行いました (4/15)

組合は、4月15日(水)、「医療資材確保に関する提案」を大学(学長・医学部長・附属病院院長宛)へ提出しました。(くみあいニュース220号参照)これは、医学部・附属病院での教職員へのマスク支給制限の情報を受けてのもので、今回の事態に、大学としてできる限りの策を講じること、また慣例的でなく弾力的に対応するよう、具体的な提案を添えて提出したものです。

これについて、4月23日(木)、学長名の回答書が届きました。回答には、組合からの提案内容を念頭に今後も資材確保に努める、ということと、現時点での具体的な備蓄数が示されていました。患者さんを守ることも同様、現場で働く教職員の命・健康も当然のこと、保障されなければなりません。今後も組合としてできる限りの提案を行ってゆきたいと考えています。

*この件については、5月18日(月)に行った附属病院長・医学部長・看護部長等との懇談会の場でも、危険手当創設の要望等とあわせて意見交換をしました。次号でご報告します。

＊＊ご意見等、ぜひ組合までお知らせください＊＊

～事務局からのお知らせ～

新しい書記局員さんを迎えました！（石村多代子さん）

長年、組合員としても組合を支えていただいた大変、心強い存在です！
以下、石村さんの自己紹介です。

皆さま、こんにちは。この3月で学務課を退職し、このたび小串分会の書記局員として採用していただきました石村です。若い頃から組合に加入し、組合がどちらの方向を向いているのかわからないまま、組合活動などせず退職しましたので、定年後に組合や大学と何らかの形で関わりを持つことができラッキーです。長年働いて感じたことですが、それぞれの職場で働いている方々が少しでもより良い条件や待遇、環境の整った場所の下で働けるように改善、運動するためには、組合は必要不可欠な団体だと思います。皆さま方のお手伝いができるよう頑張りたいと思います。

これからも宜しくお願いたします。（石村多代子）

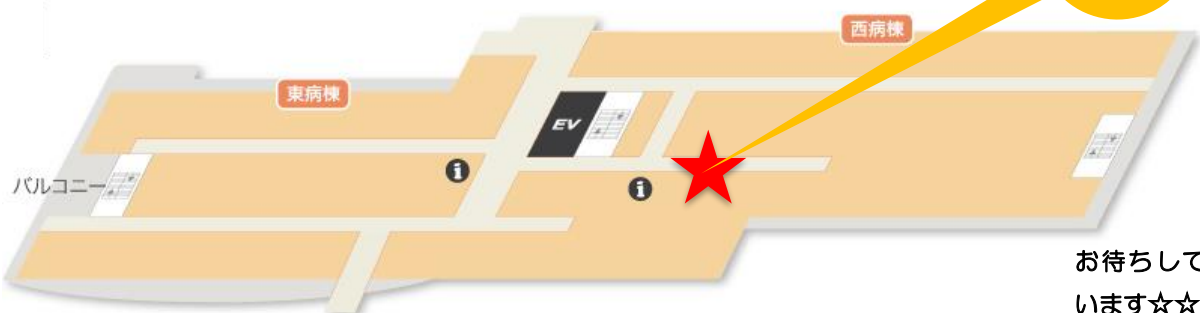
*石村さんの勤務日は、第1・3木曜（12時～15時）になります。

アンケート回答へのご協力ありがとうございました

県医労連・県労連主催「地域医療構想アンケート」については、多くの組合員さんからご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました！また、結果をお知らせします。

小串分会組合事務所マップ

附属病院B棟3階西



小串分会ではLINEグループでも情報発信をしています。登録は、組合の役員か登録済みの組合員に招待してもらいましょう！

LINE

■小串分会では役員会を毎月1回開催しています。役員でない方の見学・参加も可能です。ご希望の場合は、組合事務所あるいは組合役員までご連絡ください。

★ハラスメント、長時間労働、残業代不払い、年休取得、待遇改善などの各種ご相談は組合員でない方からも受け付けます。